



西海市は5町からなる
海に囲まれた自然豊かな市です。



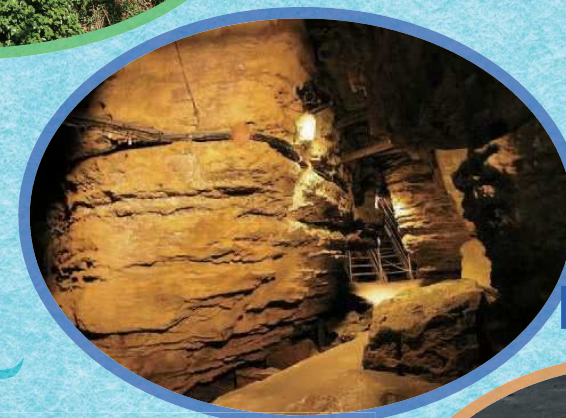
地域資源 マップ



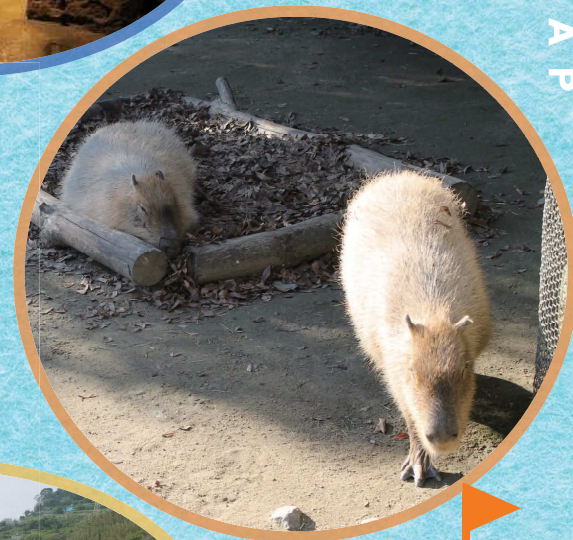
大島町



崎戸町



西海町



西彼町



大瀬戸町



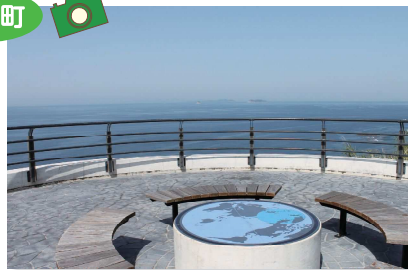
西海市

西海市 地域資源マップ

代表的な資源：観光スポット・歴史

西海市の地域資源の中で、市民から代表的な資源としてあげられた資源をピックアップしています。観光地以外にも、あまり知られていないもの、市民が誇りに思っているものなども多くあります。

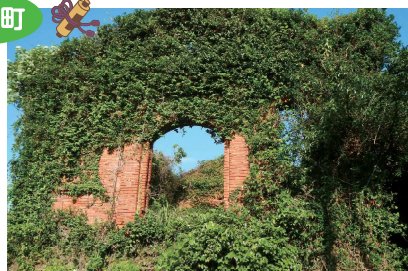
大島町



北緯33度線展望台

遠くカサブランカやバグダッドに通じる北緯33度線上に位置する大島町最西端の展望台。遠くには五島列島や平戸島がみえ、360度見渡すことができる絶景スポット。

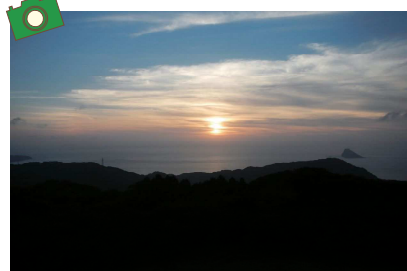
大島町



炭鉱遺構

日本の近代化を支えた炭鉱の歴史が大島町にあります。全盛期には25,000人を超える炭鉱の町として栄え、閉山後の現在は炭鉱ゆかりの遺構がみられます。

大島町



夕日

海岸沿いの国道202号をはじめ、西海市には美しい夕日が眺められる多くの絶景スポットがあります。

大島町



太田尾教会

昭和4年(1929)に海を見晴らす斜面に建てられたという木造平屋の教会です。リブ・ヴォールト天井(通称コウモリ天井)が採用されていますが、柱がないのが特徴です。

西海市



南蛮船来航の地

永禄5年(1562)、横瀬浦は南蛮貿易港として開港されました。翌年(1563)には領主であった大村純忠がこの地の教会で洗礼を受け、日本で初めてキリシタン大名となりましたが、反純忠派勢力の襲撃で横瀬浦は焼失しました。県指定史跡。

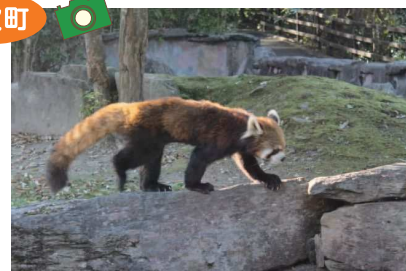
西海市



七ツ釜鍾乳洞

国の天然記念物で長崎県唯一の鍾乳洞です。観光鍾乳洞として公開されている清水洞をはじめ、西海市の中浦一帯にある多くの横穴や縦穴の総称です。現在、指定地内外に35の洞穴が確認されています。

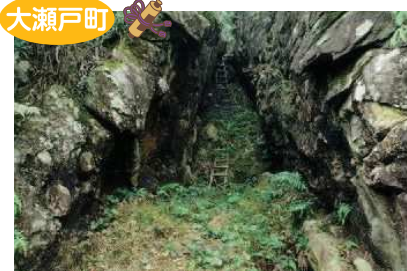
西彼町



長崎バイオパーク

動物たちとのふれあいやコミュニケーションを大切にしている施設です。30万㎡の敷地内にはカピバラやレッサーパンダ、カバなど多くの動物たちが自然のままだに生活しています。

大瀬戸町



ホゲット石鍋製作遺跡

西彼半島の山中には滑石の露頭が多く、現在数多くの石鍋製作遺跡が確認されています。その中でも本遺跡は最も規模が大きいものです。国の史跡に指定されています。

大瀬戸町



尻久砂里海浜公園

美しくお尻が腐ってしまう程いつまでも眺めていたいところから名付けられた美しい砂浜です。

西海市 地域資源マップ 祭・食

代表的な資源：行事・イベント・食・植物

西海市の地域資源の中で、市民から代表的な資源としてあげられた資源をピックアップしています。観光地以外にも、あまり知られていないもの、市民が誇りに思っているものなども多くあります。

大島町 食



大島トマト

大島町で生産されているトマトで、水をできるだけ与えない特殊な農法で育てた完熟トマト。非常に甘くおいしいトマトとなっています。

西海町 祭



中浦浮立

西海市の各地で浮立が行われており、そのなかでも中浦浮立は、一度途絶えましたが、復活させ、今も昔のやり方で行われています。

祭



ペーロン大会

ペーロン大会は西海市全域で行われ、各地で熱い戦いが繰り広げられています。昔はペーロン競争の前後にペーロン唄が唄われていましたが、一部の地域では唄い手がいなくなり、歌詞が残されるのみとなっているところもあります。

祭



鬼火焼

毎年1月の伝統行事で、地域により3日、7日、西海市の各所で行われています。古くある火の祭りで、呼び名も、鬼火焼きのほか、ヤボ焼き、おんのほね、鬼火焚きなど、地域によってさまざまです。

食



押し寿司

卵・魚のおぼろ・干しいたけ・ゴボウなどを蒸し米の上にのせて押し型に切る、ハレの日のごちそうです。市全域で作られています。地域で作り方が少しずつ異なります。旧大村藩領であった西海市では「西海寿司」として親しまれています。

西彼町 食



西海大鍋まつり

西海市の食の一大イベントで、西海市の特産品のPRを目的に開催され、伊勢海老・アラ・カキ・西海ポークなど西海市の特産品をふんだんに使用した大鍋料理が振る舞われます。特産品の販売も行われます。

西彼町



タブノキの巨木

八木原天満宮にあるタブノキの巨木で、根周り350cm、地上120cm高さでの幹周りが325cmあります。境内にはほかに、拝殿左手に2本のクスノキや、ハゼノキの巨木などがあります。照葉樹林からなる社叢を形成し、西海市の天然記念物に指定されています。

祭



獅子舞

各所にある神社の春季大祭や秋季大祭などで舞われます。獅子舞は特に炭鉱時代に盛んで大瀬戸町松島や崎戸町浅間などでは舞うスタイルの伝播や深化が進みました。崎戸の獅子舞はその典型例で力強い時代の遺伝子を今に引き継いでいます。



ハマボウ

西海市の花木で、長崎県準絶滅危惧種（NT）に指定されており、存続基盤が脆弱な種とされています。河口や内湾付近に生育し、しばしば群落を形成しています。7～8月頃、ロウ状の径7cmくらいの黄色の美しい花を咲かせます。

西海市 地域資源マップ

知られていない資源：観光・歴史

西海市の地域資源の中で、ちょっとマニアックな資源をピックアップしています。お年寄りの方々から挙げられたものも多く含まれており、若い人たちに知ってもらいたい資源でもあります。

大島町



星のなる木

大島の中で最も高い位置にある百合岳公園内に、世界的に有名な彫刻家・新宮晋氏設計のモニュメント「星のなる木」があります。ライトアップされており、近くで見ると迫力があります。

崎戸町



33° 元気らんど

炭鉱時代に多くの社宅が建ち並んでいた広大な敷地を、芝生広場として整備された、親子で楽しめる施設です。

崎戸町



聴音所跡

北緯33度線展望所の隣にあるのは、旧日本海軍佐世保鎮守府の特設見張り所の聴音所跡で、戦時中、海底のスクリー音等をキャッチしていたそうです。

江島



碁石ヶ浜

江島の西側にある、碁石ヶ浜という名前のように碁石のような丸い石が敷きつめられた美しい海岸です。

大瀬戸町



らくだ島

松島のシンボルであり、松島のフェリー乗場、釜浦栈橋のすぐ近くにあり、ラクダそっくりの島で、岩の上には古松があります。

西彼町



ひらばる 平原キリシタン墓碑(西彼)

墓碑面中央に花十字の紋があり、その上にI・N・R・Iと刻まれています。西彼杵半島におけるキリシタン墓碑として貴重なもので、県の史跡に指定されています。

西海町



池崎のアコウ

西海町太田和の池崎バス停付近の石垣に2本のアコウの大木が並んで立っています。地域の憩いの場ともなっています。

大瀬戸町



日本一小さな公園

松島の西の海岸に、日本一小さな公園があります。地域の人たちによって作られました。かわいらしい柵にかこまれた公園の中にはベンチと一本のシュロの木があります。

大瀬戸町



雪浦海浜公園

青い海と白い砂浜に松林が調和した美しい海浜公園です。ウミガメの産卵をみることができます。

西海市 地域資源マップ

知られていない資源: 行事・イベント・食

西海市の地域資源の中で、ちょっとマニアックな資源をピックアップしています。お年寄りの方々から挙げられたものも多く含まれており、若い人たちに知ってもらいたい資源でもあります。

平島



平島のナーマイドー

江戸時代、平島の淨専寺の僧と庄屋の娘が心中し、その供養と島内の安全を念ずる仏教行事として始まったといわれています。藁縄を数珠に見立てた大綱となし、行列して「ナーマイドー（南無阿弥陀仏）」と唱えながら引き回した後、大綱を海に流します。県指定無形民俗文化財。

食



エソかまぼこ

松島や瀬戸福島、崎戸本郷、大島中戸産などが知られています。エソのカマボコは、エソをすり身にし加工する、といった手順でツナギが少なく、粉類もほとんど使わずに作られます。

大島町

食



大島焼酎

大島焼酎は長崎大島酒造でつくられる本格焼酎。フルーティーで爽やかな口当たりと好評。星のなる木という芋焼酎の限定品もあります。

江島

祭



江島くんち

江島で毎年9月に行われる八幡神社の例祭です。浮立が奉納され、中でも青年代表が受け持つ大役「エイヤー」（薙刀使い）が魅力です。

西海町

祭



浦安の舞

西海町の太田和神社の神待祭では、神事に続き浦安の舞が奉納されます。鈴を持った巫女姿の小学生女子4人が厳粛に舞います。浦安の舞は、中浦の宗像神社や横瀬神社などでもみられます。

西彼町

祭



下岳龍神祭

下岳神社から市杵島神社（龍神社）の間を浮立行列が往復します。現在、祭礼は毎年8月29日に行われています。西海市の無形民俗文化財に指定されています。

大瀬戸町

食



ぼうぶらずうし

ぼうぶらずうしは小さく刻んだカボチャ、麦、少量のお米、煮干し、サツマイモなどを入れた郷土料理です。昔は鯨の肉も入れていました。

大瀬戸町

祭



熊野神社秋季大祭

熊野神社の秋季大祭は雪浦くんちとして親しまれています。雪浦は、古くからとても芸能が盛んなところでした。現在は、豊年太鼓、獅子舞、じゃ踊りが各分区ごとに3年に1回の輪番で奉納されるほか、小学生の奉納相撲も開催されています。

大瀬戸町

食



つぼき

大瀬戸町の雪浦伝統の料理です。精進料理で仏事と関係深く、報恩講や法事などで食されます。具材は、ゴボウ、ニンジン、サトイモ、レンコン、揚げ豆腐。特徴は味つけにあり、基本的に甘い料理です。

西海市 地域資源マップ

貴重な資源

西海市の地域資源の中で、市民の方々が貴重だと思っている資源をピックアップしています。必ずしも、歴史的、学術的に重要なものではありませんが、市民が大事にしていきたい資源です。

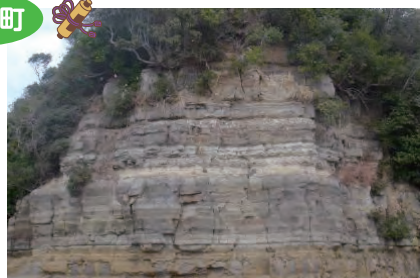
大島町



三百年家

西大島の中でも古い屋敷で、昔は町役場に使用され、さらに江戸時代には大村藩要人の宿泊所でした。地区に伝承によると、この屋敷の土台は約270年前のものとされています。

崎戸町



化石

西海市の北西部は、結晶片岩の上に西彼杵層群と呼ばれる第三紀層が重なり一部が露出し、徳万層や蛸浦層には貝類、石灰藻、流木などの化石が豊富に含まれています。



ペンギンモドキ

今から3500万年前、大瀬戸や大島や崎戸島の海中を泳ぎまわっていた鳥で、体長が1.5m程ありました。名称からペンギンの祖先かと思われがちですが、現存する種ではヘビウに近い海鳥です。学名は長く分かりづらいので、愛称としてつけられた名前です。



ミカンの原木

西海市のみかんは質が良く、岩崎みかん、原口みかん、山本みかん、ほかいくつかの種類があります。それぞれに特徴があり、甘さや酸味だけでなく、販売に適した収穫のタイミングまで少しずつ違いが見られ多様です。

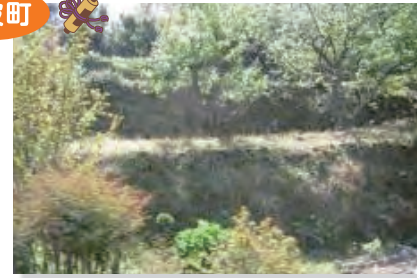
西海町



南串島

固有の海岸や河川の形成により、干潟が自然のまま良好に保たれており、ハクセンシオマネキなどの水生生物やハマボウなどの植物も多く生息しています。全国的に干潟は減少しているのですが、この貴重な自然環境を次世代に残すことが望まれます。

西彼町



白浜石棺群

弥生時代の壺と石棺が出土しています。墳墓として長崎県遺跡情報システムに登録されています。郷土史家でもあった末富康二先生が発見した遺跡です。

西彼町



二百年家(鳥加)

現在の屋敷は文政2年(1819)の台風により損壊し建て替えられたと伝えられています。それ以前にもっと大きな建物があり、十二艘屋敷と呼ばれていました。

大瀬戸町



真砂

柳ノ浜は藩政時代に塩田があったように昔からきれいな海でした。そのような柳の真砂は特徴的な清砂です。その真砂も以前より少なくなってきました。

大瀬戸町



龍ノ口

大きな龍が口を開けたように見える岩です。この一帯は地層が露出していることから、太古からの地質変動も見て取れ、長崎県下でもめずらしい、歩きながら地球の歴史が勉強できる場所でもあります。